

2021.4.9 妙見の森自然観察会

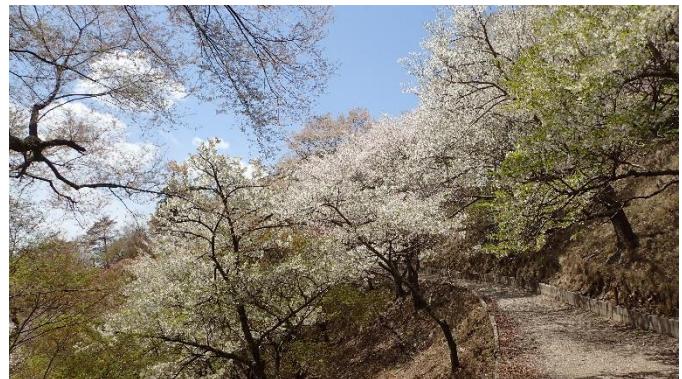
セキショウ（ショウブ科）



ムラサキサギゴケ（ハエドクソウ科）と
カキドオシ（シソ科）



タマゴケ



エドヒガン





**川西市黒川字奥山
ブナ群落**
(妙見山のブナ群落)

ブナ林は冷温帯（山地帯）に広く分布するが、瀬戸内沿岸域では六甲山、和泉高城山、大和高城山と妙見山にわずかに残存するに過ぎず、本地域のブナ林は非常に貴重。ブナ林の主要部は大阪府能勢町側に分布しており、大阪府側の林分は昭和58年に大阪府の天然記念物に指定されている。

兵庫県側のブナ林は700mと小面積であるが区内には8個体が分布。2016年3月に川西市の天然記念物に指定された。

この看板は北摂妙見山魅力づくり応援事業の助成金により作成されています

妙見山のブナ林の特徴

- 本山 日本の太平洋側で標高500m付近の上段
- 冷温帯性的ブナ林と暖温帯性的アカガシ（暖葉樹）が共存している

川西市指定天然記念物

妙見山のブナ群落

ブナ守の会

ブナ群落



能勢妙見山

